

はあてい

5月1日号

2012

「はあてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。



益田保健所所長
牧野由美子 氏



鎌手中学校3年生
篠田 千咲 さん



美都中学校3年生
澄出 妃菜 さん



西南中学校2年生
下森 若菜 さん

中学生の皆さんの学年は、平成24年3月21日時点のものです。

第29回益田市社会福祉大会

3月21日(水)、益田市総合福祉センターにおいて、福祉関係者や一般市民など約180名が参加し、大会を盛大に開催しました。

大会では、益田市の福祉の発展に寄与された個人、団体に表彰状や感謝状が贈呈されました。

続いて少年の主張益田市大会で優秀な成績を収めた中学生3名に発表していただきました。

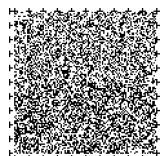
学校や家庭生活での体験をとおして感じたことや未来への夢などを、少年らしい素直な言葉で語り、参加者から惜しみない拍手が送られました。

次に、益田保健所所長の牧野由美子氏に、「地域を支える皆さんに期待すること」と題して、講演いただきました。

東日本大震災を教訓に、平時から災害に備えた住民同士のつながりが大切であり、そのためには、交流や学習を行なう、地域での活動の場づくりが大切であることを訴えられました。

また、認知症やうつ病、アルコール依存症などの心の健康の問題や、悩みを抱える人に対する傾聴のポイントなどをわかりやすくお話いただき、参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。

最後に地域福祉の推進に邁進することを誓い合って、大会宣言決議を行いました。



発行: 社会福祉人 益田市社会福祉協議会
編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

第29回益田市社会福祉大会 表彰及び感謝状受賞者

おめでとうございます。
ますますのご活躍をお祈りいたします。

敬称略

【表彰】

○社会福祉施設、地区社協・団体等の
役員での功績

- 島田 寿 (遠田町)
- 高橋 壽子 (横田町)
- 山本 君江 (神田町)
- 本井 宗明 (高津4丁目)
- 粕田 久勝 (匹見町紙祖)

○社会福祉事業における永年勤続功労

- 波田地直美 (中島町)
- 間庭美智子 (横田町)
- 堀野 洋子 (幸町)
- 塩満 恭子 (染羽町)
- 山本 条子 (七尾町)
- 村上 邦子 (高津1丁目)
- 高橋 洋子 (高津1丁目)

【感謝】

- 竹本 義和 (乙吉町)
- 豊田 優 (黒周町)
- 野村 長典 (木部町)
- 竹内 洋子 (美濃地町)
- 上田 秀幸 (高津1丁目)
- 岡本 馨 (須子町)
- いきいきサロンやまがき
- いきいき国東老人会
- なかよしグループ



福祉に貢献された個人・団体に表彰状や感謝状を贈呈しました。

地域防災力の向上を目指して ボランティアセンター講演会

昨年は、東日本大震災や噴火、台風、集中豪雨など大規模な自然災害が多発し、「いつ起こるか分からない災害」をこれまで以上に感じた年ではなかったでしょうか。

そのつした中、3月18日(日)、益田市総合福祉センターにおいて、約70名が参加して、防災をテーマとするボランティアセンター講演会を開催しました。

講師に、日本防災士会島根県支部アドバイザー鶴頭定廣氏を迎え、『今日からできる地震対策〜地域防災力の向上を目指して〜』と題して、講演いただきました。

講演では、地震が起きる仕組みや、家庭でできる地震対策、緊急時に備えて揃えておきたい物など、分かりやすく丁寧に説明されました。

そして、いざ災害が起きた時、もっとも頼りになるのは隣近所だと、日頃からのつながりが、地域での防災・減災に対して大きな力になることを強く訴えておられました。

参加された方々からは、「予防対策が分かってよかった」「具体的な内容で大変勉強になった」などの声が聞かれ、今一度防災について考える機会になったのではと思います。

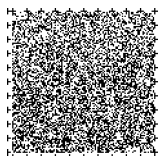
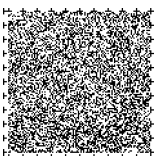


共同募金助成事業 (益田市域分) 募集のご案内

益田市共同募金委員会では、平成24年度(平成25年度事業)共同募金助成事業を募集しています。詳しい内容は、益田市共同募金委員会までお問い合わせください。

- 助成対象団体は、益田市内に拠点があり地域福祉を推進する団体等です。
- 助成額は、事業費の3/4以内で30万円を限度とします。
- 応募メ切
平成24年5月15日(火)
- 問い合わせ先
益田市須子町3-1
益田市共同募金委員会
TEL: 22-7256
FAX: 23-4177

※申請の採否及び助成額については審査委員会で決定しお知らせします。



平成24年度 益田市社会福祉協議会事業基本方針及び一般会計予算

去る3月29日、評議員会において、新年度の事業及び予算が承認されました。

市民の皆様や関係機関・団体と連携・協働して、福祉社会づくりに努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願いします。

＜基本方針＞

少子・高齢化や厳しい経済情勢等を背景に、地域社会機能の脆弱化^{ぜいじょくか}や人のつながりの希薄化が進み、福祉分野では孤独死、自殺、引きこもり、虐待などの問題が深刻化しています。

一方、昨年発生した東日本大震災の復興のため、行政機関、福祉関係者やボランティアなどによる懸命な支援活動が行われてきた中で、改めて人と人との「絆」の重要性、「地域力」が見直されています。

社協には、地域福祉の推進を担う中核団体として、これらの諸課題の解決に的確かつ柔軟に取り組み、「誰もが住み慣れた家庭や地域で、安心して生き生きと暮らせるまちづくり」を実現していくことが求められています。

そのため、福祉、保健、医療、教育等の関係機関・団体との一層の連携・協働のもとに、行政計画である「地域福祉計画」と一体的に策定した民間の活動計画である「地域福祉活動計画」を着実に実施し、また次期計画の策定に取組み、「福祉のまちづくり」のため地域福祉をより一層進めていきます。

事業の重点目標

1. 社協基盤の強化推進
2. 指定管理者制度への対応
3. 福祉のまちづくりの推進
4. ボランティア・市民活動の推進
5. 福祉教育、及び啓発・交流の推進
6. 相談・支援体制の整備
7. 在宅・施設サービスの推進
8. 役職員研修の充実

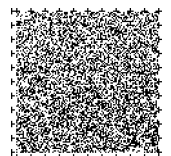
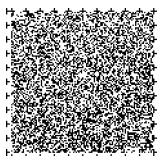
平成24年度 一般会計予算

〈収入〉 合計1,395,702,000円

区 分	単位(千円)
会費収入	15,171
寄附金収入	11,445
経常経費補助金収入	94,769
受託金収入	37,357
指定管理料収入	208,170
貸付事業等収入	4,100
共同募金配分金収入	11,818
負担金収入	223
介護保険収入	605,829
自立支援費等収入	4,305
利用料収入	1,149
私的契約利用料収入	6,582
雑収入	1,425
受取利息配当金収入	122
事業外収入	212
経理区分間繰入金収入	82,485
積立預金取崩収入	91,000
その他の収入	7,337
前期末支払い資金残高	212,203
合 計	1,395,702

〈支出〉 合計1,395,702,000円

区 分	単位(千円)	区 分	単位(千円)
法人運営事業	181,132	養護老人ホーム管理経営事業	180,780
福祉活動専門員活動事業	21,908	高齢者生活福祉センター管理経営事業	29,612
地域福祉活動推進事業	21,902	無利子生活資金貸付事業	9,968
ボランティアセンター活動事業	5,668	福祉基金事業	13,354
ふれあいのまちづくり事業	8,134	善意寄附金事業	19,400
ふれあい福祉相談事業	3,525	児童館管理経営事業	25,956
共同募金配分金事業	12,098	保育所管理経営事業	32,893
マイクロバス運行事業	6,905	合 計	1,395,702
総合福祉センター管理経営事業	22,649		
生活福祉資金貸付事業	3,234		
福祉サービス利用援助事業	9,897		
配食サービス事業	1,944		
高齢者・障がい者支援事業	3,456		
地域包括支援センター設置経営事業	22,312		
居宅介護支援事業	59,993		
訪問介護等事業	157,820		
訪問入浴介護事業	56,548		
老人デイサービス管理経営事業	123,081		
特別養護老人ホーム管理経営事業	361,533		



善意の輪

平成24年2月1日～平成24年3月31日

敬称略

〔香典返し〕

- 亀地 頼武 (西平原町) 金一封
- 土佐岡房子 (七尾町) 金一封
- 熊谷 稔 (遠田町) 金一封
- 有川 浄子 (久城町) 金一封
- 大佐古 惟 (神田町) 金一封
- 竹林 正喜 (昭和町) 金一封
- 西坂 正晴 (東町) 金一封
- 三浦 真治 (久城町) 金一封
- 中島 英二 (元町) 金一封
- 長谷田 豊 (千葉県我孫子市) 金一封
- 島田 明美 (遠田町) 金一封
- 和崎 歳満 (乙吉町) 金一封
- 森口 洋一 (元町) 五万円
- 中村 清義 (小浜町) 金一封
- 椋木 福蔵 (喜阿弥町) 金一封
- 藤井美津子 (馬谷町) 金一封
- 中村ヨシ子 (須子町) 金一封
- 大畑 誠司 (高津四丁目) 金一封
- 伏谷 茂雄 (赤雁町) 金一封
- 川崎 妙子 (戸田町) 金一封
- 大畑 幸司 (中島町) 三万円
- 下瀬 幸一 (愛栄町) 金一封
- 領家 宗一 (幸町) 金一封
- 水津スエコ (遠田町) 金一封
- 宅野 沢雄 (内田町) 金一封
- 田原 欣哉 (木部町) 金一封
- 野村 和平 (乙吉町) 金一封
- 奥田 三雄 (飯田町) 金一封
- 大谷マスヨ (東町) 金一封
- 寺戸 只雄 (波田町) 金一封
- 石田 直行 (出雲市白枝町) 金一封
- 岩本 英子 (高津五丁目) 金一封

- 有福 澄枝 (中島町) 金一封
- 川崎千鶴子 (中須町) 金一封
- 中島 茂 (高津町) 金一封
- 才木 富男 (土田町) 金一封
- 城市 栄 (白上町) 金一封
- 馬場 真昭 (七尾町) 金一封
- 島田 和子 (津田町) 金一封
- 屋敷 靖征 (美都町都茂) 十万円
- 加藤 重幸 (美都町仙道) 金一封
- 長屋 龍夫 (匹見町道川) 金一封
- 岡本 豊 (匹見町紙祖) 五万円
- 〔見舞返し〕
- 伏谷 茂雄 (赤雁町) 金一封
- 綾野 静 (戸田町) 十万円
- 織田 一夫 (美都町丸茂) 金一封
- 田中 稔通 (匹見町澄川) 金一封
- 〔一般寄付〕
- ・ ゆっくりやさしい
タイピックのパソコン教室 (常盤町) 八万四千九百四十円
- ・ 益田市母子会連合会匹見支部 (匹見町匹見) 八万二千九百七十円
- ・ ラスベガス益田店 (須子町) 二万九千四百三十六円
- 〔物品寄贈〕
- ・ 益田市母子会連合会匹見支部 (匹見町匹見) 車椅子 二台

賛助会費納入のお礼

社協だより3月号で、別紙として「平成23年度益田市社会福祉協議会特別会員・賛助会員一覧」を掲載しておりますが、新たに「特定非営利活動法人息域スペース ポコ・ア・ポコ」様より賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

ふれあい福祉相談所

心配なこと、不安なことを誰にも言えず、一人で抱えていませんか？

- Q. 離婚したいが、どうしたらいいのかわからない
- Q. 父が亡くなった後の相続のことが知りたい
- Q. 借金がいっぱいあって生活できない
- Q. 隣家と土地の境界でもめている
- Q. 独り暮らしで将来のことが心配 などなど、

解決へのお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談ください。(月曜から金曜 8:30~17:00)

益田市社会福祉協議会本所 22-7256 (益田市総合福祉センター)
美都支所 52-2392 匹見支所 56-0374

平成24年度専門相談日のお知らせ

専門相談員が対応します (益田市社協本所のみ)

- 法律相談 (要予約) 毎月第2金曜日 13:00~15:00
- ふれあい福祉相談 毎月第2金曜日 10:00~15:00
- 老人・母子相談 毎月第2・4金曜日 10:00~15:00



☆相談は無料で、秘密厳守致します。

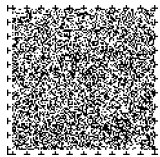
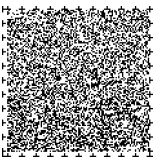
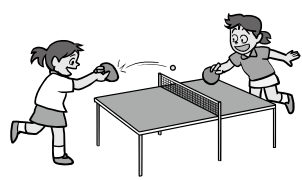
子ども達と一緒に卓球を楽しみませんか？

Goso Goso Club.com (ごそごそクラブ・支援学級や支援学校に通う子どもたち、および地域で働く卒業生の余暇活動を共有している団体です)は、活動ボランティアを募集しています。

- ◇内容 卓球をする子ども達の見守り
- ◇開催日 H 24年5月~H 25年3月 第2・4日曜日 午前9時~12時まで
- ◇場所 市民体育館・卓球場 (運動シューズを持参してください。)

一緒に卓球を楽しむ方が、見守ってくださる方を歓迎します。お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申込み
益田市ボランティアセンター 担当 石本
TEL 23-6954 FAX 23-4177
※担当者不在の時は、折り返しご連絡致しますのでお名前とご連絡先をお伝え下さい。



平成24年度 益田市総合福祉センター老人・母子講座のご案内

総合福祉センターでは、老人・母子福祉事業の一環として、お年寄りの方には明るく豊かな老後を過ごしてもらうため、また母親と児童の相互理解を深め、福祉の向上を図るため老人・母子講座を開催しております。今年度は下記のとおり行いますので、是非ご参加下さい。
対象は、老人（60才以上）及び母子・寡婦の方です。

益田市社会福祉協議会

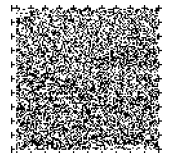
講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室	カラオケ教室 (初心者)
期 間	5月18日～3月8日	6月9日～11月10日	5月20日～3月17日	5月12日～3月9日	5月18日～3月15日	7月7日～3月23日
期 日	毎月第2金曜日 (初回のみ第3金曜日)	毎月第2・4土曜日	毎月第3日曜日	毎月第2土曜日 (8月のみ第1土曜日)	毎月第3金曜日 (8月のみ第2金曜日)	毎月第4土曜日 (初回のみ第1土曜日)
時 間	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～12:00	13:30～15:30	10:00～12:00
回 数	11回	11回	11回	11回	11回	9回
講 師	増野栄一	村上秀人	田原精一	中田登志枝	城市政知	高橋佳七
募集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	30名程度
受講料	無料	無料	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)
内 容 そ の 他	・初心者の方大歓迎。 ・毎月第4金曜日は自主的に実施。 ・ハイヒール等の靴は使用禁止です。	・初心者の方大歓迎。	・習字用具等は各自でご持参下さい。	・初心者の方大歓迎。 ・編み棒、かぎ針は各自で持参下さい。	・材料代等は各自でご負担して下さい。	・一般のカラオケ教室に参加されていない初心者の方が対象です。 ・実費 カセットテープ代
開催日程 (予定)	5月18日・11月9日 6月8日・12月14日 7月13日・1月11日 8月10日・2月8日 9月14日・3月8日 10月12日	6月9日・9月8日 6月23日・9月22日 7月14日・10月13日 7月28日・10月27日 8月11日・11月10日 8月25日	5月20日・11月18日 6月17日・12月16日 7月15日・1月20日 8月19日・2月17日 9月16日・3月17日 10月21日	5月12日・11月10日 6月9日・12月8日 7月14日・1月12日 8月4日・2月9日 9月8日・3月9日 10月13日	5月18日・11月16日 6月15日・12月21日 7月20日・1月18日 8月10日・2月15日 9月21日・3月15日 10月19日	7月7日・12月22日 8月25日・1月26日 9月22日・2月23日 10月27日・3月23日 11月24日
会 場	大集会室	研修室	研修室	会議室B	ふれあい広場	大集会室

益田市総合福祉センター

※ 期日や会場は原則的であり、変更の場合があります。

※ 申し込みは、平成24年5月7日(月)より電話でのみ受付をします。ので、総合福祉センター（TEL 22-7256・23-4177）までお願い致します。また、定員になりしだい締め切りさせて頂きます事をご了承下さい。詳しいことは、益田市社会福祉協議会（総合福祉センター）へお問い合わせ下さい。平成24年5月7日以前の受付、土・日曜日の受付は一切行いませんのでご了承下さい。

※ 当講座内の物品の販売、センター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発生・確認しましたら当講座を辞めて頂く場合もありますのでご理解下さい。



平成23年度

ふれあいネットワークまなびの研修会

去る3月30日～31日、益田市総合福祉センターにおいて、住民流福祉総合研究所（埼玉県）の木原孝久所長を講師にお迎えし、ふれあいネットワークまちづくり研修会を開催しました。

初日に行われた講演では、小地域ネットワーク活動の関係者や民生委員、自治会関係者をはじめ、地域包括支援センター等の福祉の専門職の方など、合わせて約100名の参加がありました。

独居高齢者や障がい者の方など、生活に不安を抱える方が地域で安心して暮らせるように、近隣の住民同士の助け合いや、福祉の専門職との協働によって、「地域の持つ福祉力」を向上させる方法について、お話いただきました。

二日目の演習では、モデル自治会として、市内の4自治会から参加いただき、



「近所内での支え合いを推進し、要援護者の生活援助の充実を目的とした「支え合いマップづくり」を行いました。日常の人と人のつながり、支え合いや、利用できる公的福祉サービス、住民が主体となって行うサロン活動や、ボランティア活動などをマップに記入して、課題解決のためのネットワークとして、結びつけていく手法を体験していただきました。

益田市社会福祉協議会では、今後もこうしたネットワーク研修会を開催するとともに、「支え合いマップづくり」をとおした自治会内での助け合い活動を、市内全域に広げていくこととしていきます。

笑顔も届けます

安心♥お買い物宅配サービス

「匹見はらくらく便」

安心して暮らしたい…中山間地の匹見地域では昨年

の大雪を受け、ひとりの暮らしや移動手段が無く、日常の買い物に困っている多くの高齢者の買い物支援と、安否の確認等を目的に、益田市（匹見総合支所）・美農商工会（匹見支所）と益田市社会福祉協議会（匹見支所）が手をつなぎ、買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業を実施しています。

週一回、匹見の加盟七店の中から馴染みの商店に食料品や日用品などを電話で注文すると、商店が注文品を社協匹見支所へ納品、社協がデイサービスの送り便などを活用して、ご自宅までお届けする仕組みで、現在登録は十二世帯、利用は七世帯、三月末の状況で一せ帯月平均二回のご利用をいただいております。

重いお米、かさばるトイレットパーや洗剤、新鮮な豆腐や魚、夕食用の弁当など、いろいろな品物を宅配します。

「らくらく便です。お変わりないですか。」「まあまあいつも有り難うございます。」「何より利用される方のお元気に安心します。」



「お変わりないですか？」笑顔も一緒に届けます。

地域福祉としてまず出来ることから…と試行的に走り出した取り組みですが、匹見に無くてはならないサービスとして根付くようこれからも検討を重ねながら、市・商工会・社協が一体となって進めていきたいと思います。

益田市社会福祉協議会 匹見支所

電話 〇八五六—

五六—〇三七四

